

あそしえ 通信

VOL.33

令和2年10月1日

発行：社会福祉法人あそしえ

法人本部	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-9754 FAX 053-545-9764
相談支援室ゆい(相談支援)	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-9764 FAX 053-545-9764
るるん(生活介護)	浜松市南区金折町 807-1 TEL 053-427-1190 FAX 053-427-1200
あそり(就労継続支援 B 型)	浜松市南区金折町 957-2 TEL 053-544-5488 FAX 053-544-5488
フューワン(共同生活援助)	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715
しき(短期入所)	浜松市南区金折町 804-1 TEL 053-545-3741 FAX 053-545-3715
ゆりかご(児童発達支援)	浜松市中区舘塚二丁目 6-13 TEL 053-489-3200 FAX 053-489-3216

コロナ禍での取り組みについて

新型コロナウイルス感染症が猛威を奮い始めてから半年以上が経過しましたが、今なお都市部を中心に感染拡大が続いています。これまでと変わらない日常に一日でも早く戻ることを切に願います。

当法人におきましては、ご利用者やご家族が安心して利用できる環境を整えられるよう努めています。コロナ禍故の不便や悪影響もありますが、コロナ禍だからこそできる新たな取り組みも始まっています。その一部をご紹介します。

えくらん・・・♪ミニコンサートを行いました♪・・・

えくらんでは利用者さんにもマスク着用の促しをしています。今までマスクが出来なかった方も、他の利用者さんが着けているのを見て出来るようになり、ご家族も喜ばれています。



浜松市内で感染者が増加した際には、外部講師による活動を中止させていただきました。その代わりに職員が三線やウクレレを演奏し、ミニコンサートを行いました。職員はフェイスシールドを着用し、ラップとハンガーラックで自作した衝立を置いて演奏しました。また、施設内でのカラオケ、ビンゴ大会、夏のお楽しみ会など、みなさんが参加し楽しめる活動を提供しています。

熱中症の心配もあり、なかなか屋外に出られませんが、施設内で飛沫防止や密集を避けるなど感染予防をしながら利用者さんが安全に楽しく過ごせるよう工夫しています。

あぐり・・・新たな作業に挑戦中！！・・・

あぐりでは、コロナが感染拡大し始めた3月以降、受注作業が減り収入が大幅に減少しました。その対策として、畑作業やマスク作りに力を入れました。新たな仕事を探した結果、マンションの清掃作業や、同町内でのシイタケの袋詰め作業を受注できました。

あぐりは就労継続支援 B 型事業所であり、働くことに重点を置いています。自主通所を基本としているため、路線バスなどの公共交通機関を利用し通所している方が半数を占めています。感染予防対策として路線バスの利用を控えていただき、ご家族に送迎の協力をお願いしました。ご家族での送迎が難しい方は、職員による送迎を行っています。毎月、利用者さんと一緒に決めている標語に、「手洗い・うがい、マスクの着用、アルコール消毒」などの内容を取り入れることで、みんなで感染予防を意識し取り組んできました。

緊急事態宣言解除後は、少しずつ作業が戻りつつありますが、変動もあり収入の予測が立ちにくい状況にあります。平均工賃2万円以上を目標に、新たな作業に取り組んでいきたいと思っております。



フォーワン・・・・・・・・喫茶店に行ってきました・・・・・・・・

フォーワン（グループホーム）は個室ですので「密」にはなりません、共有スペースは時間差で利用する工夫をしています。利用者さんは、コロナ禍で外出など多くのことを我慢していましたので、喫茶店に行く計画を立てました。お店のご厚意で貸し切り営業にしてください、3密を避けて楽しむことができました。



ゆりかご・・・・・・・・夏の思い出 ～縁日ごっこ～・・・・・・・・

ゆりかごでは、職員のマスク着用、換気、消毒、食事で席の間隔をあけたり、2クラス合同での活動を控えたりと感染予防対策をしています。これまでとの違いに「どうして？」と思う子もいたとは思いますが、年度初めから取り入れたこともあって子どもたちは受け入れてくれました。5月に予定していた親子遠足は秋に延期、流しそうめん会は中止、運動会は内容を縮小し実施することになりました。親子行事は



親子で楽しんだり、保護者間の交流の場にもなっているため、このような形になり残念です。

その中で何か楽しめること、思い出に残ることをやりたいと思い、子どもたちと縁日ごっこを行いました。店先に並べる焼きそばやジュース、ピザ、焼きトウモロコシを一緒に制作し、子どもたちのワクワク感も増していきました。当日は甚平や浴衣を着て、的当て、金魚すくい、ヨーヨー釣り、盆踊りを楽しみました。楽しい夏の思い出が一つできたかなと思います。

助成金をいただき送迎車両を購入しました えくらん 山本修二

えくらんは平成31年3月に新館が完成し、定員を今までの27名から32名に増員しました。建物の規模からみれば40名程度までは利用可能となっていますので、今後も積極的なご利用者の受け入れを行っていきます。

ご利用者が増えたことで送迎を希望する方も多くなっております。これまではマイクロバス1台とワンボックス車1台で送迎を行っていましたが、遠方から通っているご利用者もあり、人数が増えれば送迎も長距離・長時間になり、ご利用者にご迷惑をかけてしまいますので、送迎方法の検討を行いました。これまでの2ルートの送迎から車両を1台増やし3ルートに変更しました。

マイクロバスは購入後15年が経ちました。各所に老朽化による不具合も発生し、修理に費用や時間がかかっていました。今後、マイクロバスが不具合等で使用できなくなることも考えられるため、ワンボックス車でより多くのルートで、より自宅近くまで行けるような細かな送迎体制を組めるよう検討しています。そのためには新たな送迎用車両を購入し、台数を増やさなければなりませんので、中央競馬馬主社会福祉財団様へ助成金の申請をさせていただきました。

小回りの利くワンボックス車の台数を増やしたことで、送迎ルートが増え、新規のご利用者への対応及び現在のご利用者への送迎時間の短縮に繋がっています。乗降時のステップや車内の手すり等、装備も充実しており、屋根もハイルーフとなっていて乗降や車内の移動も容易となっています。この送迎車を多くのご利用者に使っていただき、より一層のサービス向上に努めて参ります。

助成をいただきました中央競馬馬主社会福祉財団様には心よりお礼を申し上げます。



令和元年度決算報告（令和2年3月31日現在）

貸借対照表

勘定科目	金額(千円)
資産の部 ①流動資産	68,518
②固定資産	367,133
(1) 資産の部合計	435,651
負債の部 ①流動負債	31,068
②固定負債	44,603
(2) 負債の部合計	75,671
純資産の部 ①基本金	51,406
②国庫補助金等特別積立金	72,812
③その他の積立金	76,834
④次期繰越活動増減差額	158,928
(3) 純資産の部合計	359,980
負債及び純資産の部合計	435,651

資金収支決算状況

勘定科目	金額(千円)
事業活動収入計 (1)	180,649
事業活動支出計 (2)	154,082
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	26,567
施設整備等収入計 (4)	2,995
施設整備等支出計 (5)	14,175
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 11,180
その他の活動収入計 (7)	2,766
その他の活動支出計 (8)	22,832
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 20,066
予備費支出 (10)	0
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 4,679
前期末支払資金残高 (12)	58,158
当期末支払資金残高 (13)=(11)+(12)	53,479

事業活動収支状況

勘定科目	金額(千円)
①サービス活動収益計	179,454
②サービス活動費用計	164,070
(1) サービス活動増減差額	15,384
①サービス活動外収益計	1,195
②サービス活動外費用計	1,395
(2) サービス活動外増減差額	△ 200
①特別収益計	3,334
②特別費用計	2,995
(3) 特別増減差額	339
当期活動増減差額	15,523
前期繰越活動増減差額	163,313
当期末繰越活動増減差額	178,836
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	2,620
その他の積立金積立額	22,528
次期繰越活動増減差額	158,928

特記事項

えくらん：発電機、バルーン投光機、送迎車輛を整備しました。

あぐり：駐車場及び自転車置き場を整備しました。法人本部：発電機を整備しました。

※報告書の全文は、法人ホームページ又は独立行政法人福祉医療機構の財務諸表等電子開示システムで閲覧できます。

※(福)あそしえでは、監事監査のほか藤田将司公認会計士に委嘱し、事務処理体制の向上と透明性の確保に努めています。

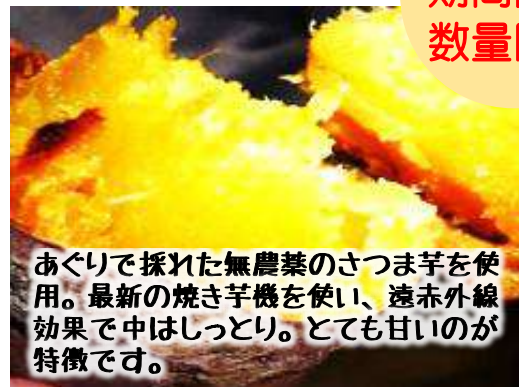
干し芋&焼き芋はじめます！！

12月～
期間限定
数量限定



さつまいもを蒸かし、皮をむいて、手作りの専用機械でカットして、天日干し。遠州の空っ風に吹かれて、おいしい甘みが引き出されます。

干し芋（1袋 230g入 500円）



あぐりで採れた無農薬のさつまいもを使用。最新の焼き芋機を使い、遠赤外線効果で中はしっとり。とても甘いのが特徴です。

焼き芋（小 100円 大 200円）

1日の販売数に限りがあります。ご予約も承っております。購入希望の方は事前にご連絡ください。

↓↓その他の自主製品はコチラ↓↓
<https://associe.org/products.html>

お問い合わせ 053-544-5488（あぐり）

IT 化の取り組みについて

法人本部 廣野勇樹

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、「働き方改革」が急速に進んでいます。テレワークが広がっていますが、利用者さんの生活を支える私たちの仕事は、テレワークでは成り立ちません。一方で、IT 化による事務作業の業務効率向上を図ることは、支援の質を高める上で重要です。

当法人では、業務の効率化や職員同士の情報共有を目的として業務支援ソフトを導入しています。利用者さんの情報や日常の記録などをシステムで管理することにより、情報共有がしやすくなります。事務作業にかかる時間を軽減することで、利用者さんに関わる時間を増やすことができます。

IT 化を進めることのもう一つのメリットは、環境保護や資源の有効利用などに繋がることです。これまでに、サーバーを導入しデータの一元管理や共有化による紙資料の削減、ファックスのペーパーレス化などに取り組んで参りました。今後の取り組みとして、これまでは「あそしえ通信」を紙媒体で郵送しておりましたが、ご希望のある方については電子データ(PDF ファイル)をメールに添付してお届けしたいと考えております。ご協力いただける方は、下記の要領にてお知らせいただければと思います。

趣旨をご理解いただき、何卒ご協力お願い申し上げます。



法人誌のバックナンバーはホームページで閲覧することができます

あそしえ

検索



こちらの QR コードからアクセスすることもできます

法人誌「あそしえ通信」メール配信申込書

送信日： 年 月 日

☐ファックスにてお申込みの方 FAX:053-545-9764

本用紙をそのまま申込書としてご利用いただけます。

①～⑤の必要事項を記入し、ファックスにてお送りください。

①お名前	
②ご住所	
③電話番号	
④登録メールアドレス	@
⑤ホームページやブログの更新情報の配信	<input type="checkbox"/> 配信を希望する <input type="checkbox"/> 配信を希望しない

☐メールにてお申込みの方 ✉info@associe.org

件名に「法人誌のメール配信希望」と明記し、本文に上記①～⑤の必要事項をご記入のうえ、上記アドレス宛にメールをお送りください。

※ご記入いただいた情報は、法人誌及びホームページやブログの更新情報のメール配信のみに使用し、目的外の利用や許可なく第三者に提供することはありません。

※お申込み受け付け後、登録完了メールをお送りいたします。お申込み後 2 週間経っても届かない場合は、お手数ですが下記までご連絡ください。

お問い合わせ
電話 053-545-9754
社会福祉法人あそしえ
法人本部 担当：廣野

特集

様々な分野で活躍中の専門家の執筆による、ホットな情報や時代を先取りした話題をお届けします。

～プロフェッショナルから学ぶ～

障がいのある方の災害への備えと避難生活

支援センターわかぎ
施設長 古橋 誠 氏
 静岡 DCAT 登録員(H29-037)

Profile

大学卒業後、平成 2 年に社会福祉法人小羊学園入職。小羊学園青年寮に配属。平成 4 年に小羊学園児童寮に異動。平成 14 年にトマト工房に転出。平成 17 年からマルカート、ドルチェの管理者を経て、平成 21 年から現職。

M8 クラスの地震は世界で平均年 1 回程度は起きると言われています。ユーラシア/太平洋/フィリピン海/北米の 4 つのプレート上にある日本は、世界全体の 1 割が起きる地震大国で、東日本大震災や熊本地震が記憶に新しいところです。そして近年、「いつ起きてもおかしくない」と言われているのが東海・東南海・南海の 3 連動地震です。起こりうる災害を想定し防災・減災意識を高め命を守る行動をとりましょう。災害に健常者も障がい者も区別はありません。地域全体誰もが被災者となりますが、障がい者や高齢者は災害弱者になりがちです。まずは地域のハザードマップ（津波・地盤・土砂・浸水）を確認し、どんなリスクがあるか知っておきましょう。そして、災害に応じて避難方法・場所・安否確認手段を家族・施設で決めておきましょう。家族で集合場所を決める際は、一番立場の弱い人のところに集まれるよう決めておくのと良いですね。集まれない時には災害伝言ダイヤル 171 を活用しましょう。併せて、備えておいた方がよい防災グッズを少し紹介します。障がいのある方特有のものとして、ご本人が気に入っているグッズや、入手しにくい抗てんかん薬や向精神薬などは 3 日分のストックがあると望ましいとされています。

防災備品として最低限保管しておく物

飲料水・非常食・常服薬・お薬手帳
 マスク・懐中電灯・携帯ラジオ・ヘルメット
 手回し充電器・乾電池・下着靴下・衛生用品
 ビニール袋・ガムテープ・ホイッスル

続いて、発災直後の避難行動例に触れます。津波が想定されるケースでは緊急避難場所を最優先にして命を守る行動に徹し、自宅が使用できない場合に一次避難所へ向かいましょう。避難所は住民が一斉に避難しますので、開設当初は大混乱に陥り、ストレスを受けやすく誰もがイライラしがちです。特に知的に障がいのある方・自閉症の方は、避難行動の理解が難しくパニックや強い行動特性が表われ、周囲とトラブルが生じやすいです。そのためトラブル回避策で、避難所に行かず倒壊した自宅や車中を生活拠点に選ぶ方もいます。しかし、物資補給や情報取得の難しさ、エコノミー症候群のリスク、安否確認の難しさなど課題もあるので、可能な限り避難所へ行くことを推奨します。避難所は自治会・自主防災隊など地元住民が中心になって運営されますので、日頃から地域の方々と交流を深めご本人を知っていただくことが、有事の際に理解者となり得ます。それでも避難所生活が想定しにくい方は、安否確認や速やかな支援を受けるために、あらかじめ自宅が被災した場合、親戚や友人宅などに身を寄せる避難先を決めておき、通所施設や相談員に伝えておきましょう。また、支援区分更新時に要配慮者リスト登録をしておくことも周囲の支援を受ける術になります。

避難所生活で障がい者・高齢者・乳幼児・妊婦などの要配慮者は、避難所内の要配慮者ゾーンで過ごし、必要に応じて福祉避難所で支援を受けます。要配慮者ゾーンは開設当初から設置が見込まれ、福祉避難所は福祉施設など市内 156 事業所（市HP公表）と協定が結ばれています。ルールでは一次避難所を行政職や保健師等が巡回し支援の必要可否を判断し、施設と受入れ調整を行い福祉避難所へ移送されます。いずれにしろ、地球の営みの中で自然災害は繰り返されます。想定外ではなく大規模災害の想定をした上で、自らそして愛する家族を守るための備えを普段から心がけましょう。



最後に、皆さんは「^{ディー・キャット}静岡DCAT」という組織をご存じでしょうか？被災自治体の要請を受けて避難所に派遣される福祉支援チームの名称です。社会福祉士・介護福祉士・保育士・ケアマネなどの福祉専門職がチームを組み、避難所内で福祉トリアージや生活相談、生活環境改善などの支援を行います。平成 29 年度に発足され、現在は県下で 240 名程の登録員が在籍しています。2 年前の西日本豪雨では 3 クール 15 人が岡山県倉敷市へ支援活動に入りました。平時の防災活動も行っていますので、自治会等で合同訓練の希望がありましたらお声掛けください。



倉敷市での支援活動風景

令和元年度 苦情等の受付・対応状況について

令和元年度は、3件の苦情、33件の要望を頂きました。今後も真摯に対応していきたいと思っております。

	えくらん	あぐり	フォーワン・とも	ゆりかご
苦情件数	2	0	0	1
要望件数	11	12	1	9

主な内容（公表可のみ）

苦情・要望内容	事実確認及び対応
送迎バスが停車位置を通り越してしまい、通常の降車場所から降りられなかったが、運転手から謝罪がなかった。	申出人に謝罪をした。送迎バス運転手と運行コースを再確認するとともに、運転マナーの指導をした。
あぐりの駐車場が増設されることを知らなかった。工事をしていたため、気になっていた。	4月の家族会の際に報告をしていたが、申出人は欠席していたため、伝わっていなかった。文書にて改めてお知らせをした。
子ども同士の関わりの中で怪我をした場合、どのように対応をしているのか。相手の保護者にはどのように伝えているのか。	以前に子ども同士の関わりの中で傷を作ってしまった。その都度対応していたが、同じことが続き保護者が不安に感じていた。謝罪と対応方法について説明をした。

あそしえ後援会ご入会・ご継続のお願い

みなさまのご善意により後援会を運営しております。スポーツデイやクリスマス会などの行事にボランティアとして参加、成人を祝う会やゆりかご卒園式には記念品の贈呈などを行っています。

あそしえ後援会

「あそしえ」への財政的協力・支援活動
 「あそしえ」の広報活動
 会員相互の交流 その他活動

ご支援ご協力お願いいたします

年会費 個人会員 一口 1,000円
 法人会員 一口 10,000円
 郵便振替 00890-0-100480「あそしえ後援会」

ご加入・ご継続者（令和2年3月～令和2年8月・順不同、敬称略。）

猪原谷文 鈴木啓一税理事務所 嶋田初江 大石邦子 加藤さえ (株)アズ・フレックス 宮崎啓太
 美和勇一郎 鈴木義隆 竹内公一 竹内三紀子 KONOIKE Co.(株) 齋藤弓子 池田佳世 白尾恂
 天野正彦 石樽太一 日内地孝夫事務所 盛岡茂子 榊原自動車(株) (株)中村組 高林久二夫
 内田賢一 深田吉治 木村満雄 山下純乃 青木喬 越川秀司 山本妙子 山本長行 花崎佳子
 (有)マツオ工機 白都恒次 嶋泰子 吉野いづみ 河合美恵子 高橋和良 竹内恵子 新井淑恵
 弁護士法人安間守田法律事務所 (有)三銀堂不動産 中村皇積 山口勝義 鈴木克子 小田史子
 影山忠弘 池谷直子 中島千春 アーネスト・ララカ・シルバ 匿名希望3名

ご協力ありがとうございました（令和2年3月～令和2年8月・順不同、敬称略。）

ご寄附 日本形染(株) (有)ノサキ電器 (株)一条メンテナンス 浜松磐田信用金庫本郷支店
 京丸園(株) (有)木元文昭 (有)池田ゴム マックスバリュ浜松和田店 河合秀敏
 マックスバリュエクスプレス浜松飯田店 マックスバリュ浜松立野店 中村真由美
 静岡県社会福祉協議会 あそしえ後援会 イオン浜松市野店 イオン浜松西店

アルミ缶 百瀬江利子 中村真由美 河合秀敏 西伊場凧揚げ会 鴨江八日会
 小池富子 宮本恵子 (有)木元文昭 (株)中村組 ナカムラ道路(株)

ご報告 令和元年度のアルミ缶の売り上げは、138,455円(1,152kg)でした。ご協力ありがとうございました。

地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。ご利用者家族からのご寄附・ご協力は割愛させていただいております。いつもありがとうございます。